

2021 プロジェクト研究  
前期振り返りまとめ

J19059 中澤愛華

# 研究テーマ：山本県の部屋資料のデジタル化

## 前期行ったこと

### ○神川小学校での取り組み調べ

- ・創造館学習－社会科の学習で昔の生活について学習（3年）
- ・プログラミング教育－ロボットを使ってプログラミングを学習（6年）
- ・クロームブック－写真の取り込み、調べ学習（2年）
- ・信濃国分寺史跡公園清掃（全学年）

# ○デジタル化の提案書作成

上田市立神川小学校御中

長野大学 企業情報学部 中澤愛華

## 山本鼎の部屋のデジタル化

### 【山本鼎の部屋の課題】

- ・ガラス張りや網線に入っているため資料の一部しか見ることができない
- ・劣化が進んでしまう
- ・細かくて見づらい、読みづらい部分がある
- ・利用する機会がない

### 【目的】

現代の社会ではデジタル化が進んでおり、その対応が必要になっている。そのため現在の山本鼎の部屋の現状は時代遅れとも言える。また、学校側の視点から考えれば、山本鼎の部屋があるため来訪者への対応が必要になり、負担が大きいと考えられる。また、私は神川小学校出身であるが、この部屋を利用した記憶がない。せっかく資料があるのに小学生すら利用しないのはもったいない。そこでデジタル化を行うことで子供達がタブレット端末を使って山本鼎について学習できたら良いのではないかと考えた。細部までじっくり見ることができるし全ページ見ることができるので子供達も理解を深めやすいのではないかと。学習の材料として資料の提供ができればと考えている。展示する必要をなくすことで資料の劣化防止にもなる。

### 【効果】

#### ①児童の学習に役立てることができる

児童がタブレット端末で学習できるようになる。自主的に調べたり他の資料を見たりすることで新たな発見につながり理解を深めることができる。

#### ②管理の負担が少なくなる

来訪者への対応をする必要がなくなる。

#### ③資料が活用される機会が広がる

地域の方や興味を持った方が資料にアクセスできるようになる。

### 【方法】

- ・スキヤンスナップで読み込む
- ・読み込めない資料は一紙レフで写真を撮る

### 【参考例】

上田市マルチメディア情報センター山本鼎アーカイブズ



上田市マルチメディア情報センターHP <https://museum.umic.jp/yamamotokazuo/works/>より引用

### 【デジタル化のイメージ】

デジタル化する前



山本鼎の部屋に展示されている絵



デジタル化した後



上田市マルチメディア情報センターHP <https://museum.umic.jp/kangawa/>より引用

## ○デジタル化された資料の閲覧

閲覧した資料→マルチメディア情報センターHPに載っている昭和初期の神川小学校の児童の絵



上田市マルチメディア情報センターHPより  
<https://museum.umic.jp/kangawa/list.cgi?sp=work>

## 振り返り・まとめ

- ・ 提案書を仕上げるのに思いのほか時間がかかってしまったが、その分小学校に方に納得してもらえる提案書が作成できたと思うので良かった。
- ・ 先生方がデジタル化に対してイメージを持ちやすいように工夫できた点も良かった。
- ・ 実際に存在するサイトを見て、自分の中で山本鼎の部屋資料をデジタル化したサイトのイメージがわいてきた。
- ・ 地域学習の方はあまり進めることができなかった。